

令和7年度 鶴岡市タクシーピークシフト 実証事業

アンケート結果報告書

令和8年2月
鶴岡市企画部地域振興課

1. 鶴岡市タクシーピークシフト実証事業 実施内容

本事業は、午前中に集中しているとされるタクシー需要の平準化（ピークシフト）を目的に、平日の午後の利用に対して運賃補助を行い、利用者の行動変容を促すことを狙いとして実施したものである。

事業期間

令和7年9月16日（火）～12月12日（金）のうち、タクシー等の乗車時刻が平日13時～17時の利用

対象者（下記すべてに当てはまる方）

- (1) 市内在住者
- (2) 実証事業を実施している市内タクシー・ハイヤーの乗車時に利用アンケートに回答すること

事業に協力して頂いた市内タクシー・ハイヤー事業者

事業者名	営業区域					
	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
温海温泉観光自動車株式会社						●
株式会社大山タクシー	●					
落合自動車株式会社		●	●	●	●	
庄交ハイヤー株式会社	●	●	●	●	●	
大和交通株式会社	●	●	●	●	●	●
鶴岡タクシー株式会社	●					
出羽ハイヤー株式会社	●	●	●	●	●	
羽黒タクシー株式会社	●	●	●	●	●	
八乙女観光自動車有限会社	●					
合资会社湯田川温泉自動車	●					
湯の浜観光エアポートタクシー有限会社	●	●	●	●	●	●

補助内容

タクシー・ハイヤー利用1回あたり200円を運賃から割引

鶴岡市タクシーピークシフト実証事業

平日午後
タクシーをお得に利用しよう！

限定

本市内のタクシー・ハイヤーの利用は、AMに偏っているといわれています。比較的空いているPM（13:00～17:00）の時間帯の利用に対し、運賃を割引する実証事業を行います。



●実施期間
令和7年9月16日（火）～12月12日（金）
上記の期間のうち平日13:00～17:00
※予算に達した場合は早めに終了することもあり得ます
●対象者（下記すべてに当てはまる方）
①市内在住者
②タクシー・ハイヤー乗車時に、 利用アンケートに回答すること

タクシーピークシフト実証事業利用者数

9月	10月	11月	12月	計
661	1,812	1,429	726	4,628

午後の時間帯の利用で
スイスイ&お得に移動しませんか？

平日13:00～17:00利用で

●補助内容
タクシー・ハイヤー利用1回あたり

運賃から
200円
引き

問 鶴岡市企画部地域振興課 0235-35-1191

※タクシー・ハイヤーの配車依頼は各事業者に連絡してください

問 鶴岡市企画部地域振興課 0235-35-1191

※タクシー・ハイヤーの配車依頼は各事業者に連絡してください

2. タクシーピークシフト実証事業 総評

本実証を通じ、以下のとおり、本市におけるタクシー利用の構造的な実態が明らかとなった。

1. 利用実態：利用者層の強い固定化

本事業の利用者の約89%を60代以上が占め、そのうち約71%が女性であった。また、職業別では主婦・無職等が約88%を占め、フルタイムやパートタイムで働く現役世代の利用はほとんど見られなかった。これらの結果から、本市におけるタクシー利用、特に平日午後の利用は、高齢女性を中心とした、日常生活の移動手段として定着しており、利用者属性が極めて限定的であることが浮き彫りとなった。

2. 利用目的：生活リズムに根差した需要構造

利用目的の約84%は「買い物」および「通院」であり、利用時間帯は14時から16時台に集中していた。一方で、16時を過ぎると利用は減少する傾向が見られ、夕食準備などの生活リズムに直結した行動パターンがうかがえる。このことから、平日午後におけるタクシー需要は、生活リズムに深く関わる需要であり、少額の運賃補助といった金銭的インセンティブのみで、出発時間を大きく変更する（ピークシフト）ことには一定の限界があることが示唆された。

3. 事業スキームの課題：意図的利用の広がりの不足

利用者の約70%が「事業を知らなかった」「たまたま利用した」と回答しており、事前に事業を認知した上で、意図的に利用時間を調整した層は限定的であった。その結果、本事業は、需要を午後時間帯へ誘導するための動機付けとしてよりも、もともと午後にタクシーを利用していた特定の利用者層に対し、結果的に割引が適用される形となった側面が強かったと思われる。

まとめ

本事業は、午後時間帯におけるタクシー利用者の属性や利用目的を把握するなど、一定の成果を得ることができた。一方で、運賃補助による利用時間帯の変更を通じた需要の平準化には限界があることも明らかとなった。

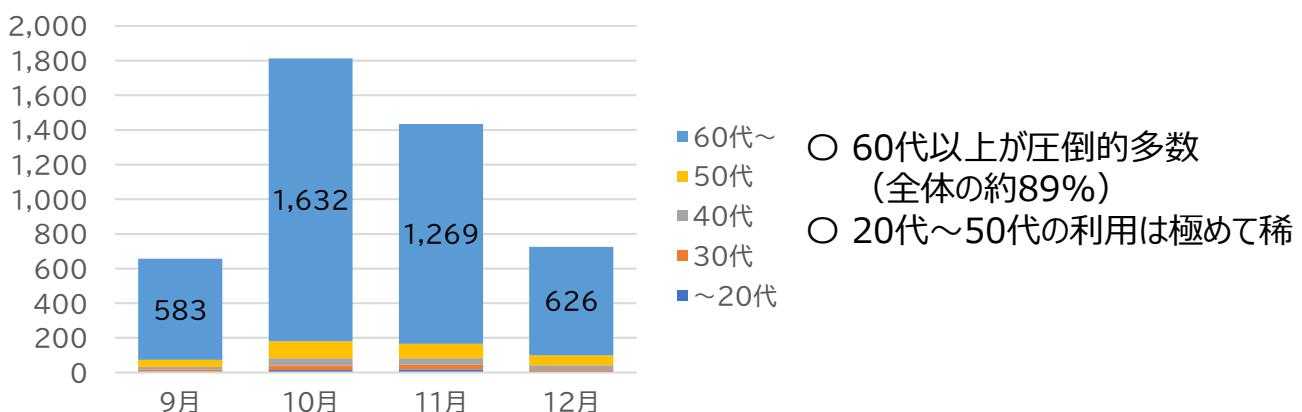
今後は、こうした実証結果を踏まえ、利用者に時間帯の変更を求める支援よりも、必要な時間帯に必要な台数が確保される体制づくりや、予約・配車の利便性を高める支援の方が、市民の利便性向上により直接的につながると考えられる。

3. タクシーシフト実証事業 アンケートの個別結果

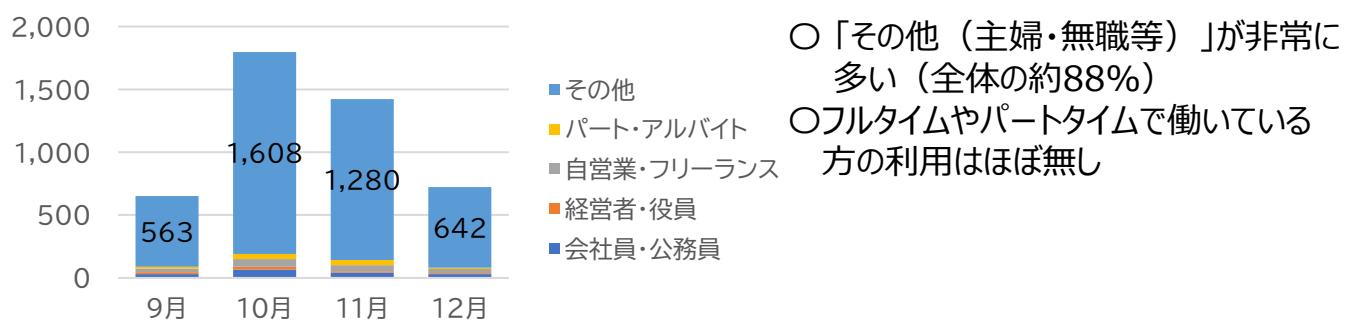
Q2. お客様の性別を教えてください



Q3. お客様の年代を教えてください



Q4. お客様の主な職業について教えてください

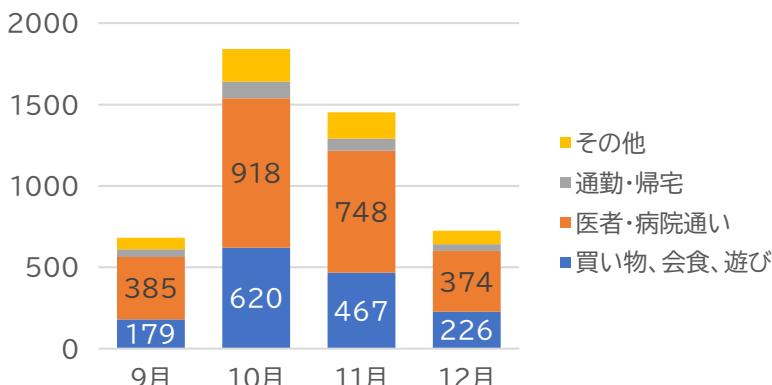


Q5. 本実証事業により、午前から午後にタクシー利用を切り替えようと思いましたか？



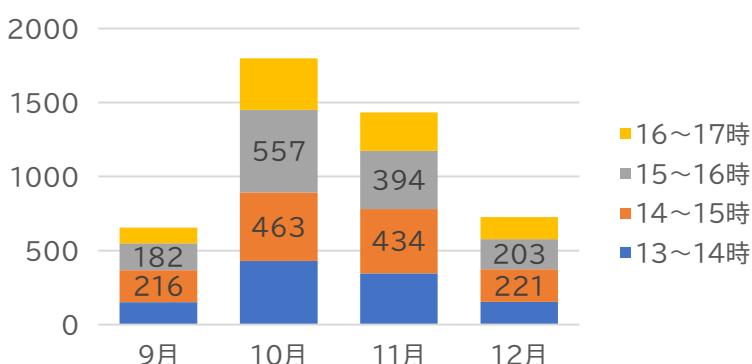
3. タクシーシフト実証事業 アンケートの個別結果

Q6. 今回タクシーをどのような目的で利用されますか？



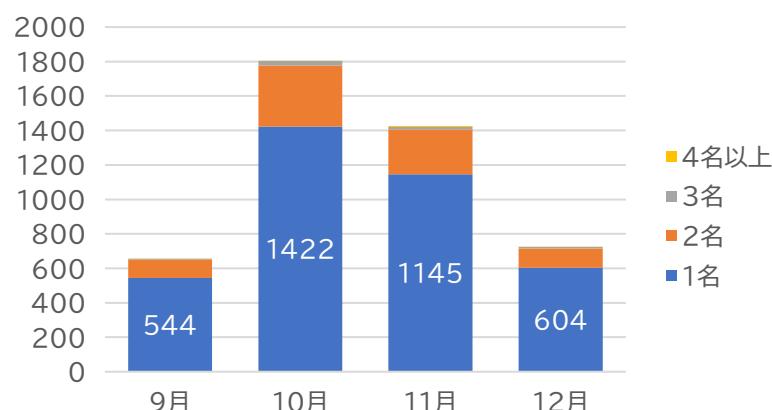
- 「買い物」と「通院」の利用が約84%を占めている
- 通勤・帰宅は極めて少なく、生活関連の移動を中心とした利用実態となっており、経済活動・業務利用を目的としたものは少ない。

Q7. 今回タクシーを利用した時間帯を教えてください



- 平日午後の中でも、中間帯（14~16時台）に利用が集中する傾向が見られた。（約58%）

Q8. 今回の乗車人数は何名ですか？



- 1名利用が圧倒的多数（約80%）
- 個人の移動手段として機能している事が明白。
- 次点は2人利用であり、団体での利用は稀

Q9. 本日のタクシー料金の支払い方法を教えてください



- 現金利用が圧倒的に多い（約94%）
- キャッシュレスはごく少数であり、高齢者中心の利用構造と一致